

薔薇便り

No.254

2023年 7・8・9月号



目次

事務局だより	1~4
春のばら展の報告	5~6
ばら園めぐりバスツアーに参加して	7
越後丘陵公園ツアーに参加して	8~9
ばら会と私	10
花庭訪問	11
ばらの寿命は何年?	12~15
ばらの根は水に弱い?	16~17
接ぎ木その後	18
スタンダード台木づくり	19~20
月々の手入れ	21
編集後記	22



事務局だより



令和5年度 第3回ばら教室

日時：8月20日（日）13時30分～15時30分頃まで

場所：熊本市動植物園 緑の相談所 2F 研修室

熊本市東区健軍 5-14-2 TEL096-368-7321

※植物園入り口から入らずに左の緑の相談所入口から入って2階です。

入園料は不要です。駐車場に駐車される方は駐車料が必要です。

講師：正村 正輝

内容：秋の剪定と防除、その他

【注意】ばら教室にはお配りしています「ばらの手入れ」をお持ちください。
新入会員の方で「ばらの手入れ」をお持ちでない方には会場でお渡しします。

●動植物園「緑の相談所」



令和5年度 第4回ばら教室

日時：9月24日（日）13時30分～15時30分頃まで

場所：フードパル熊本 食品交流会館 会議室

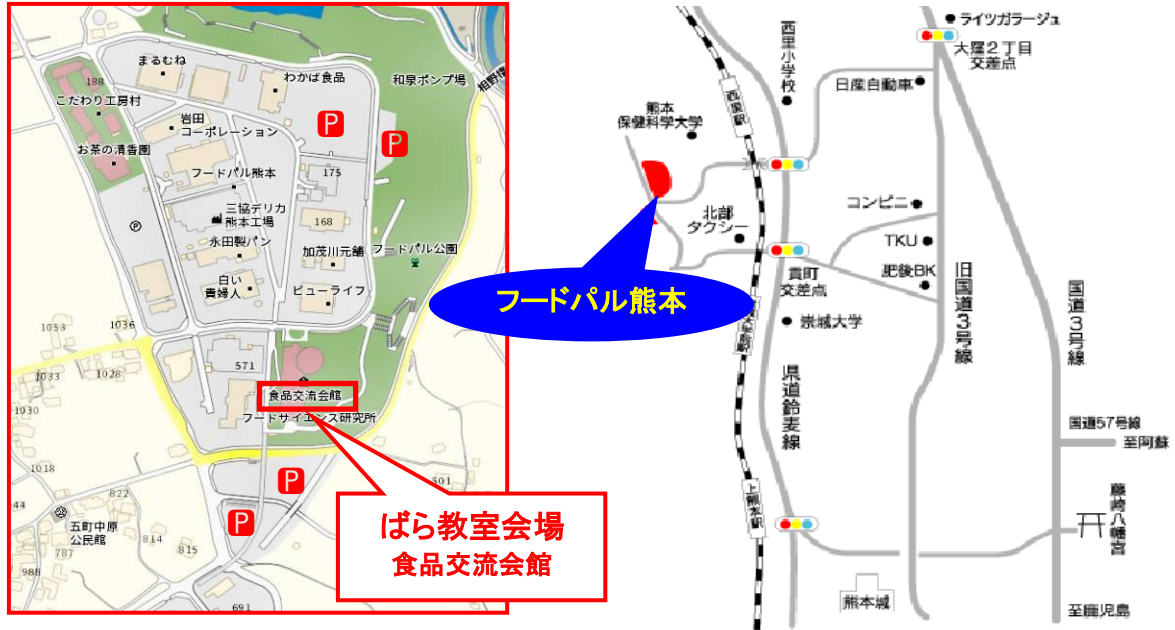
熊本市北区貢町 581-2 TEL096-245-5111

講師：正村 正輝

内容：秋花の前の防除、花後の手入れ、芽接ぎ

【注意】ばら教室にはお配りしています「ばらの手入れ」をお持ちください。
新入会員の方で「ばらの手入れ」をお持ちでない方には会場でお渡しします。

【注意】必ず **P** に駐車ください



令和5年度 技術指導部 講習会

ばら教室より、更に進んだ栽培技術の講習を行いますので、是非ともご参加ください。

場所：福島部長宅 宇土市花園町 953-2 TEL:090-2589-6991

講師：技術指導部部長 福島 康宏

第3回 講習会 日時：7月23日（日）13時～15時頃まで

第4回 講習会 日時：8月27日（日）13時～15時頃まで

第5回 講習会 日時：9月10日（日）13時～15時頃まで





セント・コルベ名称登録のおしらせ

熊本ばら会3代会長（昭和57年5月～平成11年5月）をされた高木 寛 様(故人)のお庭で、「祈り」の枝変わりで生まれた「セント・コルベ」を、平和のばらとして日本ばら会に名称登録しました。

高木様の庭で生まれて27年も経ちましたが、セント・コルベは「アンネのバラ」「祈り」と共に平和のばらとして全国に広まっています。高木会長は誰でも自由に増やせるようにと品種登録されませんでした。そして高木様と親交があった相原バラ園の相原嘉寿雄様（アンネのばらを全国に1万本以上配布された）によって全国に広められたものと思います。

前号で前田会長がご紹介されましたが、「セント・コルベ」は世界でも認知され、神父の出身地ポーランドの在日広報文化センターにも植栽されているそうです。

ウクライナへのロシア侵攻など世界では戦争が絶えません。高木様の平和への願いを伝えるために今回名称登録を行いました。

以下に高木様が会報に寄稿された文章の要約を紹介します。

■セント・コルベ（FL） 作出：1996年 日本 高木 寛

私は1996年の秋に「祈り」というばらに黄色の花を発見しました。「祈り」は「アンネのバラ」の子供で、上品なクリームピンクのばらですが、その一枝に突然変異で黄色の花が咲きました。

「アンネのバラ」の子供「祈り」から偶然に我が家で新花が誕生したことは何というお恵みだろうと感謝で一杯でした。

私はそのバラに「セント・コルベ」と命名しました。コルベ神父様はゼノ修道士とともに1930年に来日され、長崎に聖母の騎士修道院を創立し、6年間聖母の騎士誌を通じて宣教され1936年にポーランドに帰国されました。

第二次世界大戦がはじまり、ナチスドイツがポーランドに侵攻すると、間もなく神父様は逮捕されて、アウシュヴィッツ強制収容所に送られました。コルベ神父は収容された人々と生活を共にすることで収容者に慰めと希望を与えておられました。

1941年8月に収容者の一人が逃亡したために連帯責任として10人が餓死刑者として選抜されました。コルベ神父は、選ばれた10人のうちの一人になりたいと、身代わりを願われたのです。コルベ神父は静かに地下牢に下り、一切の食べ物も与えられずに、最後の一人になるまで生きつづけて、友のために自らの命を捧げられました。その後3年経って、アンネ・フランクの一家がこの強制収容所に入ってきたのです。





新入会員紹介

新年度になり入会された方をご紹介します。 ※敬称略、順不同

小林 純子 (熊本市中央区神水)
荒牧 久利 (高森町上色見)
黒田 睦男 (山鹿市鹿北町椎持)

田中 裕二 (八代市鏡町北新地)
片山 貴容子 (熊本市中央区坪井)
松任 さとみ (熊本市北区八景水谷)



春のばら展忘れ物

春のばら展最終日の撤収は会員の皆様のご協力でスムーズに終わりました。ご協力頂きました方々には御礼申し上げます。

ところで撤収終了後に折りたたみ傘とゴミ箱が残っていました。バケツはダイソー製でした。

お忘れの方がおられましたら事務局へお知らせください。



ベラボンのご紹介

技術指導部講習会で福島部長が使用されている鉢植え用土の説明を受けました。赤土40%、ピートモス20%、牛糞堆肥20%、ベラボンM20%とのことでした。ベラボンとは、ヤシの実のスポンジ繊維を、細かく切断して、あく抜きをした園芸資材です。ヤシの実の繊維は亀の子タワシに使用されていて腐りにくい繊維です。そのヤシの実の繊維を園芸用に加工された資材です。通気性、保水性に優れています。JA熊本うきグリーンセンター宇土で注文すると、業務用100L袋¥3,700-ですが、4袋以上でない送料がかかるとのこと。熊本ばら会で共同購入しますので、ご希望の方は事務局へお知らせ下さい。また(株)フジックの通販サイトや楽天の通販では市販品を購入できます。



(株)フジックの製品(市販品)
ハンズマンに4L袋はある
¥790-

Mサイズ
5ミリ





第 115 回 春のばら展の報告



春のばら展は5月5日～7日で「ばらのワールドカップ」をテーマに開催しました。正面の特別展示台には作出国毎の花を展示して「ばらのワールドカップ」を表現しました。今回も会員の皆様のご協力ですばらしいばら展を開催することができました。自家用車で鉢植えを運んで頂いたり、切り花、アレンジ花を持参頂いたり、また設営や撤収などご協力頂きましてありがとうございました。



「ばらのワールドカップ」を表現した展示
中央のアレンジは牛島加奈子様にお願ひしました。



■ 春のばら展 来場者アンケート結果

春のばら展でご来場者にアンケートをお願いしましたところ422枚のご回答を頂きました。以下にアンケート結果を報告します。

Q3、Q5は複数選択可ですので総数が422以上になっています。また、回答されなかった項目は総数が422より少なくなっています。

Q3は全てが良いと回答された方が多数おられました。「すばらしい」「癒される」などのご意見が多く、展示の方向性に間違いはないと感じました。

ご来場者のご意見に答えるべく更に良い展示ができるように検討していきます。

	項目	選択数
Q1	ばら展の開催を何で知りましたか。	
	① 新聞、テレビ、ラジオで知った	162
	② 鶴屋百貨店のチラシ「今週の鶴屋」	125
	③ 鶴屋百貨店に来てから知った	94
	④ その他(知人からおしえられた、はがき、ネット)	26
Q2	今回のばら展の印象はどうか。	
	① とてもすばらしい	397
	② 普通と思う	14
	③ あまり良くない	0
Q3	今回の展示で良いと思われたのはどこですか。	
	当てはまるもの全てに☑を入れてください。	
	① 展示テーマ飾付(ディスプレイ・アレンジ花)	170
	② バラの鉢植え	270
	③ バラの盆栽	218
	④ バラの切り花展示	145
	⑤ ミニバラのグラス展示	128
	⑥ 会場のバラの香り	174
Q4	ご自宅にバラを植えられていますか。	
	① 植えている	260
	② 植えていない	91
	③ 今後植えてみたい	49
Q5	興味があることはありますか。	
	当てはまるもの全てに☑を入れてください。	
	① バラの育て方やガーデニング	249
	② バラのお庭(オープンガーデン)廻り	135
	③ ハウステンボスのバラ園などバラ園廻り	106
	④ 同じ趣味を持つ人との仲間づくり	25
Q6	熊本ばら会に興味はありますか。	
	① 興味がある	234
	② 興味がない	120



ばら園めぐりバスツアーに参加して



谷村 小由里

今日は薔薇をこよなく愛する総勢 16 名で福岡のばら園散策。まずは粕屋町駕与丁(かよいちょう)公園に到着です。ちょうど「バラまつり」が開催されていて大賑わい。真っ赤な「ピカソ」と「ユーロピアーナ」の歓迎を受けます。

ばら園は上から見ると粕屋町の町章をモチーフに、180 品種 2400 株を植栽してあり、その一角にたくさんの白いアイスバーグに囲まれたスタンダードのストロベリーアイスが嬉しそうに咲いていました。大きな駕与丁池の涼しい風に、ばらの香りを感じながらお弁当をいただきます。

次の目的地、宗像市の吉田ばら園へ。大きな木製のメインアーチに、左からピンクの「アンジェラ」右からは情熱的な濃赤の「ルージュ ピエール ド ロンサール」が出迎えてくれました。

300 坪のお庭に 200 品種 300 株の薔薇が輝いています。イングリッシュローズなどのシュラブやつるばらが咲き誇り、道路沿いの色とりどりのスタンダードローズがアクセントになっています。

栗や桃の木の下でのシェードガーデンエリアにはクリスマスローズや宿根草が心地よさそうに揺れていました。薔薇に囲まれながらティータイムとおしゃべりを楽しみ、優しいピンク色の「ポール ノエル」のウィーピングに見送られながら満開の吉田邸を後にしました。



駕与丁公園



吉田博美バラ園

吉田氏は地域の緑化推進にも尽力され、緑豊かな暮らしを楽しんでおいでです。来園の思い出にと「鹿の子ユリ」の幼苗のプレゼントもご用意下さいました。

今回も、スムーズで快適なバスツアーを企画して頂きありがとうございました。お天気にも恵まれ、薔薇の香りに包まれた素敵なお一日でした。



越後丘陵公園ツアーに参加して



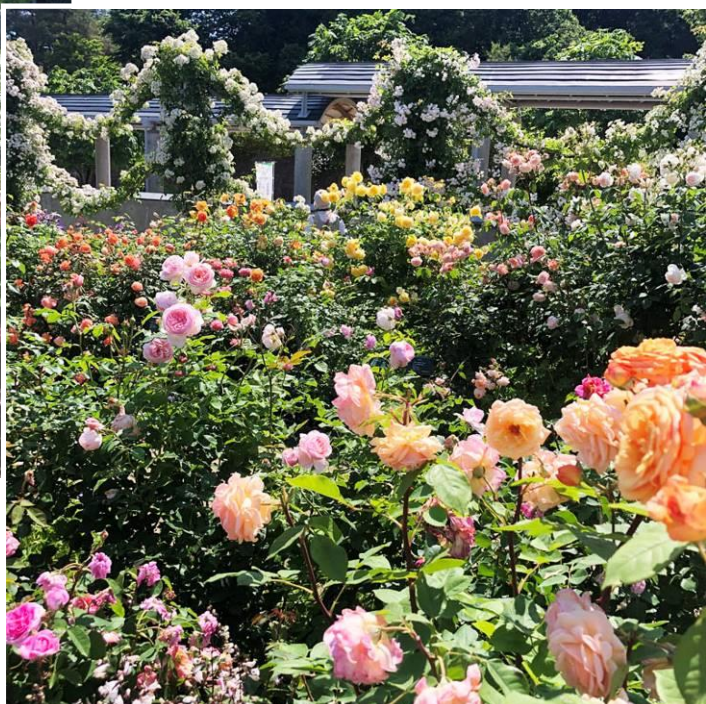
菱刈 ゆかり

台風2号の影響で、着陸した飛行機の外はやはり雨でした。しかし、中華街で食事を終えた後、雨傘が日傘に変わるほど天気は好転。散策予定の港の見える丘公園、山下公園は、バラは終わっていましたが、とても手入れが行き届いており、港の見える丘公園から望む横浜ベイブリッジの景色も堪能できました。

さて2日目。心躍らせながらの「国営越後丘陵公園」はバスを降りたとたん、爽やかな風の中、ふわっとバラの香りに包まれ、さすがに“香りのばら園”だと納得。目に飛び込んでくるランブラー系のつるバラの仕立てや、満開のバラに私たち11人は思わず歓声をあげました。4時間はあっという間に過ぎ、次の目的地「みつけイングリッシュガーデン」へ。ここも又、イングリッシュガーデンという名にふさわしく、樹々と草花の調和が抜群です。高温多湿の熊本では真似は難しいかもしれませんが心が穏やかになれる素晴らしいガーデンでした。笑顔満載の3日間。皆さんお疲れさまでした。次のツアーも楽しみにしています。



越後丘陵公園 “香りのばら園”



満開のバラと香りに包まれて
地上の楽園のようです。



飽きること無くバラ園を何周も
しました。



みつけイングリッシュ
ガーデンは落ち着いた
雰囲気、草花を眺め
ながらゆっくりと散策
しました。



ばら会と私

No.39 大森順子



ギ・サヴォア

60歳の手習いで入会し14年生になります。当時はバラを育てたいがその方法がわからず又、どんな世話をしたら良いのか想像もつきませんでした。

年6回もある「ばら教室」は魅力的で欠かさず出席しましたが、いざ出席してみるとそんなに甘くはなく耳慣れないバラ用語や、病害虫、その薬剤の名前等なかなか馴染めず配布された資料や「ばら便り」を手にして四苦八苦の日々でした。

出席を重ねるうちに少しずつ教室の雰囲気にも慣ればら大好きな会員の方々と一緒にいる事がとても幸せでした。そして講話の内容もちょっぴり解り始め、「ばら教室」で培った事を実践し始めると初心者の私

でも何とか育てられる様になり、自分自身の栽培スタイルが少しずつ確かなものになったように思います。次第にばら友も増え、消毒や追肥の時期、剪定など、ばら友と確認し合いながら丁寧に教えてもらったり、教えたりするのも楽しみの一つです。

私は「ばら教室」で育てていただきました。

バラと一緒に生活し成長を見続ける楽しさは夢のような毎日です。

今後とも会員の皆さんと一緒に切磋琢磨しながら一つとず一つと楽しみたいものです。



プリンセス・シャルレーヌ・ドウ・モナコ

かていほうもん 花庭訪問

春のばら展が終わった3日後、俵山からわずかに熊本市内寄りに位置する山口美千代さんのお宅へ花庭訪問。

七年前の熊本地震では近隣の皆さんと共にヘリコプターで救助され、庭には巾1メートル、深さ1.5メートルの程の亀裂が2本入りました。その後の大工事を行うため木々や、バラ、草花も避難したり枯れたり植物たちも大きな被害を受けました。

前回訪れたときはまだ地震の爪痕が残っており、胸が締め付けられる思いでしたが、今日はすっかり元の優しい木陰がいっぱいの「癒しの庭」に戻っていました。

大木に育ったアカシヤ、ライム色のメタセコイア、ヤマボウシ、そして珍しいホワイトポプラ、ジューンベリー等の見事さに感動！樹木の間合いにはご主人お手製のアーチやパーゴラが備えられ、それに絡めてあるつるバラやクレマチス。

千鳥草やギボウシ、バーパスカムなどがバラに良い色を添えています。

バラは緑の中に控えめに咲いているという主張しない植栽で主の山口さんの雰囲気と重なりふんわりと心地よさを感じさせてくれます。それでも100品種くらいはあったのでしょうか。今咲いている中ではアミロマンティカが可愛くてお気に入りだとか。始めて買ったバラはピエール・ドゥ・ロンサールとの事で、外弁が白で中がピンク、遠目ではどちらもよく似ています。香りがあって優しい色が好き、と・・・納得ですね。



アミロマンティカ

山口さんがバラに目覚めた理由は、家の周りのフェンスにバラの葉の美しい緑を絡ませたかったのだそうです。バラの花ではなかつたというのが興味深い!! 後から花がついてきたというわけです。

最後に、今困っていることは？との問いに、花が咲こうとするこの5月に、俵山からの吹きおろしの風がかなり強く、バラの葉も花も蕾も全てズタズタにされ、木々も傷み、心が折れそうになると言われます。昨年はバラの開花時季より吹きおろしの風が遅かったとの事で、大満足の庭に仕上がったそうです。

どうか今年も花の季節が無事に過ぎますようにと祈りながら俵山を背に市内に向けて車を走らせました。

文 やじきた





バラの寿命は何年ぐらい？



深野 文孝

「バラ講座でよくある質問です」 私もバラを始めた当時、バラの寿命は何年ぐらいだろうか？と疑問を持っていました、先輩に伺うと20年はもつよ、と聞いて、思っていた寿命より長かったのが嬉んだことがあります。

私は熊本ばら会に入会して40年を過ぎたところですが、その間、育てていく中でバラの寿命について感じたことは、日々の管理の状況、病虫害などの様々な要因に左右されるので一概には言えませんが、数年から数十年と幅があるようです。

国内では、中には推定樹齢150年の白モッコウバラもあります。

四季咲きのHT(大輪系)バラを全く手入れせずにそのまま放置していると、2～3年でダメになる品種もあるし、バラに適した土壌にして、日当たりそして風通しの良い環境で病虫害の駆除を行ってやれば、10年から20年間は花を咲かせてくれるようです。寿命は系統「原種の濃さ」などの遺伝情報も大きな要因ですが、枯れる原因としてバラが黒星病とかキャンカーそして癌腫等の病気にかかり、またテッポウムシに被害され、そして鉢の場合は可愛がり過ぎて、多肥や過度な冠水で根腐れを起こし、自然と弱って枯れるのが一般的のようです。もちろん、個体差があり一概に言えないところもありますが、バラの寿命とは日頃の観察と管理の努力の結晶だと思います。バラを育ててきて感じたことは、病気に強い品種は寿命が長いように思われます。

生き物にはすべて寿命があり、バラも幼年期、青年期、老年期があるようで、幼年期は1～2年苗、青年期は3～5年苗、老年期は6年から先の苗と考えられます。

幼年期に蕾を取って花を咲せないようにしますと、バラ苗は大きく育ちますよ。

バラが一番花を多く咲かせる時期は青年期の頃で、これを過ぎると花数が徐々に少なくなるので、切り花種の業者では4～5年程で苗を植え替えているとのこと。

HT(四季咲き大輪系)は、老年期に入り古い株になると花付きは年ごとに悪くなりますが、花自体は落ち着きを持ち、色や形が良くなる傾向にあるようです。

バラの主な系統は①大輪系のハイブリットティ(HT)

②中輪系のフロリバンダ(FL)、③小輪系の(Min)、

④半つる(S)、⑤つる(CL)に分類出来ます。

①四季咲き(HT)大輪系は大きな花を咲かせるため、とても華やかで豪華ですが、病気に弱いバラが多く、薬剤散布と栽培技術が必要となり管理が大変です。

また、花枝が長く、秋には高くなるので庭植えでは他の植物との調和が難しいところがあります。

②四季咲きの(FL)中輪系は病気に弱いバラもありますが、通常の栽培で良く咲いてくれます。

あまり高くならず横張性のものが多いので、庭で他の植物と調和をとりやすい。



HT ラ・フランス



FL アイスバーグ

③四季咲きの(Min)小輪系は露地植えにしますと、雨で土を跳ね、黒星病に罹って弱り、枯れることがあるので、鉢植えにして育てれば通常の栽培で良く咲いてくれます。



④シュラブ(S)は耐病性に優れ、香りのバラが多く時折の薬剤散布で良く咲き、木立とつる性の中間にあるので、環境や育て方である程度自由にコントロールできる柔軟さがあり、これが大きな魅力です。まさに家庭向きのバラですね。



⑤つるバラ(CL)は病気に強いバラが比較的多く、時折の薬剤散布で栽培可能なものが多いが、ハイブリットティやフロリバンダの枝変わりによりつるバラに変わった品種があり、これらは耐病性が劣るようです。「つる〇〇〇〇」は枝変わりで弱いものが多いが、中には強い「つるノックアウト」もあります。



モダンローズについて述べてきたところですが、品種として、①オールドローズ、②原種バラがあります。

① オールドローズは、ヨーロッパで1867年に作出されたモダンローズ第1号HTラ・フランス以前に、交配して多くの品種を作り育ててきた品種で、ヨーロッパのオールドローズの系統、中国からの原種バラの影響を受けたオールドローズ系統など、多くの系統があり多種多様で耐病性の判断は難しいところがあります。私も数種類育ててみましたが病気に弱いようです。日本の気候はヨーロッパの気候と比べ、高温多湿なのでバラがその環境に合っていないのかもしれませんが。

② 原種バラは日本にも数種類あり、主なものとしてノイバラ(ロサ・ムルチフローラ)、テリハノイバラ(ロサ・ウィクラリアナ)、ハマナス(ロサ・ルゴサ)があり、ノイバラはフロリバンダの房咲性に、テリハノイバラはつるバラに貢献しています。ノイバラの花が咲く時期に山等に行き、ノイバラの古木を探しに行ったことがありますが、ノイバラの幹の直径が大きくても10センチ程なので十数年しか経過しておらず、それを超える古木は未だに見つけることができません。

ノイバラは万葉集に「みちのへの茨の末に…」と歌われており、齢を重ねたノイバラの大きな古木が見つかると思っていたのですが！

このことから、バラ苗はノイバラを接ぎ木の台木としており、この台木の寿命がバラの寿命に多少なりとも関係しているのではと考えているところです。

いずれにしても、寿命は避けられないので長く楽しむには、病気に強い品種を選び、

バラが好む環境で、適切な管理を行えば10年から20年間は楽しむことができますよ
うです。

話は変わりますが、長崎のグラバー園
オルト邸の白モッコウバラの樹齢は15
0年(イギリスの商人の、オルト氏がこ
こに邸宅を建設したのが1867年)頃
で日本最古のバラとされています。

また、愛知県半田市の「萬三の白モッ
コウバラ」も樹齢は推定150年とのこ
とです。

オルト邸のモッコウバラは玄関に向か
って左がモッコウバラで、右がナニワイ
バラです。

何で違うバラを植えてあるの?と疑問
に思いグラバー園について市の情報誌で
調べてみると、モッコウバラの台木がナ
ニワイバラに接ぎ木していることが解か
りモッコウバラの接ぎ木は出来ないと信
じていたのでビックリ!

早速、挑戦してみる価値があると思い、3年前、熊本ばら会で理事をされ、モッコ
ウバラを収集されている方から穂木を頂き、ナニワイバラに10本接ぎ木をしました
が、全て接げずにダメでした。

偽情報かと疑ったのですが、長崎市の情報誌なの
で間違いないと信じ、調べてみるとグラバー園のモ
ッコウバラは白で、頂いたモッコウバラ穂木は黄色
だったことから、再度挑戦することにしました。

2年前、白花モッコウバラの穂木を、再度頂いて、
5本接ぎ木を行ったところ、接ぎ木が3本成功して
やったー!と言う気になりましたね。

今までの不可能を可能にできたので最高に嬉しかっ
たですよ。モッコウバラは挿し木で簡単に増やすこ
とができますが、接ぎ木はできないことが常識でし
たので。モッコウバラは花が咲いていない時には白
色なのか黄色なのか全く判断はつきません。

なぜ色で接ぎ木が出来たり出来なかったりすることが未だに不思議でなりません。

これからの課題です。来年は一重のモッコウバラの接ぎ木ができるか試してみよう
と考えているところです。

オルト邸の白モッコウバラと萬三の白モッコウバラも推定樹齢150年とのこと



で、何か関連性があるのではと思います、モッコウバラが中国から日本に渡来した年表を調べると1760年(江戸の中期)で263年前から白モッコウバラが育てられて、150年前にすでに接ぎ木の技術があったことに驚いています。

ナニワイバラに接ぎ木した白モッコウバラの寿命が、150年生きながらえてきたことには、長崎の歴史に夢を感じさせられます。

ナニワイバラは1670年、黄モッコウバラは1849年に中国から渡来しています。先人達はその頃「江戸時代」からバラを楽しんでいたことを考えると、何となくロマンを掻き立てられます。

私は、50年前仕事で長崎に2年程住んでいましたので、来年久しぶりに長崎に行き、グラバー園のモッコウバラに会いに行こうと考えて、ネットで検索してみると今オルト邸の改修工事が行われており、足場組み立てで邪魔になったのか、白モッコウバラが1メートル程の高さで、無残にもバサリ切られていてガッカリしました。

150年も経っている古株なので、その残った古株から芽吹くかどうか、心配しているところです。

過去、自宅の庭のHTパパメイアンで苦い経験があります。

バラは古株になるとシュートが出なくなり、幹の更新が出来ないことから年ごとに剪定箇所が高くなっていきます。

花を下から見上げるようになったので、思い切って40センチの高さで剪定したところ、枯れてしまいました。

剪定前の高さが3メートル近くあったので、バラがショックを受けて枯れたものと考えています。

オルト邸の右側のナニワイバラのように、左側もモッコウバラが枯れてナニワイバラの台木が芽吹いてくるかもしれませんね。そのようにならない事を只々祈っていますよ。 **日本最古の白モッコウバラですからね！**

最後に、モッコウバラを接ぎ木するキッカケになった記事を掲載致します。

この記事は長崎市発行の観光案内の広報誌で、長崎の魅力情報満載のWebマガジン(ナガジン)2008年3月の「百花繚乱！グラバー園散策」にあります。

「百花繚乱！グラバー園散策」

4月上旬から5月上旬、旧オルト住宅に見事に咲くのは、**ナニワイバラ**というバラ。この花は中国原産の薬用花で、大坂の植木屋から広まって和名がついた。もともと旧オルト住宅のこのバラは、モッコウバラの台木だったのだが、上部のモッコウバラが枯れて台木が伸びたのだとか。



ナニワイバラ



切られた白モッコウバラ



ばらの根は水に弱い？



正村 正輝

「鉢植えに水をやりすぎると根腐れをおこす」とか「水はけが悪いと根腐れをおこす」など、バラづくりの本やネットで目にします。本当にバラの根は水に弱いのでしょうか。

実験をしようと考えたわけではありませんが、私のずぼらな性格のため、図らずも実験のようなことをしてしまいました。

昨年のバラの接ぎ木教室で台木を10本ほど買って帰り、しばらく水に浸けて吸水させようとバケツの水に浸けておきました。それをそのまま1年間ほったらかしにしてしまったのです。

水だけですの生育が旺盛なわけではありませんが、水に根を伸ばし、枝を伸ばしました。バケツの水は根に吸われたり蒸発したりして減りますので、鉢植えの水やりのついでに水を継ぎ足していました。

今年の接ぎ木教室でも台木を1セット買って接ぎ木しました。その際にバケツに浸けた台木を出してみました。バケツの水は黒く濁りドロのような匂いがしました。そのドロのような水の中に台木は白根を出していました。枯れていたのは1本だけでした。その台木を使って1年ぶりに接ぎ木をしました。

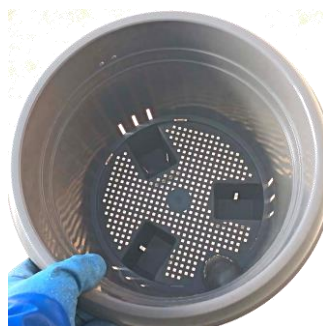
2017年に熊本ばら会のツアーで京成バラ園行きました。その際にガーデンセンター店長の大川原清光さんのセミナーに参加させて頂きました。大川原さんの話では、バラの根を水に浸けておいても1週間くらいでは根腐れしないので、バラは水を良く与えることが必要とのことでした。私の場合は1週間どころではなく1年間も水に浸けていたのです。

大川原さんが、バラ栽培に薦められていたプラスチック鉢は、鉢底に水溜と排水口が付いた「底面給水機能付き“楽々菜園”」という鉢で、その鉢に植えられていたバラは見事な大株に成長していました。とても良さそうな鉢でしたが、12号鉢より小さな鉢がないとのことでした。

今年の1月にハンズマンに鉢を買いに行ったときに底面給水機能付き鉢の8号鉢を見つけました。価格は680円でした。同じメーカーの深鉢8号(328円)もありましたので、底面給水鉢と深鉢で生育比較をすることにしました。



鉢底の穴から用土がこぼれないように根巻きテープで穴を塞ぎました。



底面給水鉢





深鉢

鉢底の穴から用土がこぼれないように根巻きテープを敷きました。



底面給水鉢も深鉢も鉢の縁の下3センチまで用土を入れると8リットル入りました。用土の量も同じなので比較実験には適当です。

用土は赤玉土小粒とバーミキュライトの等量混合用土を使用しました。

基肥はマグアンプKを用土1リットルあたり6グラム混ぜました。

植え付ける品種は、とりあえず福島部長から頂いた同じ品種を植え付けました。

追肥は1ヶ月後に緩効性肥料（IB化成肥料）を25グラム与えました。

1鉢では比較にならないと思いますので順次増やしていきます。



4月12日植え付け



5月12日追肥 IB化成25グラム



5月28日生育状況



底面給水槽には白根が伸びている



接ぎ木その後



正村 正輝

冬の接ぎ木教室で「削ぎ芽接ぎ」した苗の芽が伸びてこないものがありました。前号で報告しましたが、接ぎ木芽の上から台木を切り取るものと、ノイバラの枝を3分の1残して剪定したもの、ノイバラの枝をそのままにしたもので、比較することにしました。

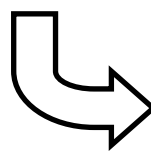
あとで福島部長にお尋ねしたところ、芽接ぎ後に活着したのが確認できたら芽の上で台木を切り捨てるとのことでした。芽が伸びてきたら切り取るのではなくて、活着を確認したら切り取るのだそうです。そのことが理解できていなかったようです。

【3月30日の削ぎ芽接ぎの状態】

【比較実験の開始時の状態】



ノイバラの枝を残したものは、接ぎ芽が伸びてこなかったため、5月13日に芽の上で台木を切り捨てました。すると接ぎ芽が伸び出しました。





スタンダード台木づくり



正村 正輝

冬に畑で藪状になっていた群星と群舞を伐採しました。伐採したときに、真っ直ぐに伸びた枝をもったいなと思って、スタンダード台木用に挿し木しました。

群星と群舞は、ノイバラに近い品種のようですが、枝にトゲがないので扱いやすい品種です。(トゲなしノイバラの方が台木には最適です)

枝の切り口をナイフできれいに切り直し、発根促進剤のオキシベロン液剤の40倍希釈液に30分ほど浸けて、底面給水鉢に赤玉土とバーミキュライトの等量混合用土を入れて挿しました。自宅の北側に置いて、水やりはほぼ毎日行いました。

5月からは1週間に1回ほど薄い液肥を水やりのあとにやりました。

挿し木してしばらくしたら芽が伸び出して5月には花を咲かせたものもありました。梅雨入りしたら挿し木を畑に植え付けることにしましたが、雨と準備のタイミングが合わずに6月20日時点で植え付けができていません。



切り出した枝(シートは1.8m角)



挿し木は家の北側に置いた



6月1日の挿し木の状態



畑への植え付け状況

【注】6月20日で畑への植付が出来ていませんので、畑へ植え付けた写真は、以前に挿し木を植え付けたときの写真です。

【夏の挿し木】

7月には緑枝の挿し木ができます。
今年伸びたノイバラの枝が硬くなったら、枝を切ってきて、上部の葉だけ残して下の葉はむしり取ります。芽もナイフで削り取って、ついでにトゲも取ると扱いやすいでしょう。

残した葉も枚数を減らして水の蒸散を減らします。切り口をナイフできれいに切り直し、バケツの水に浸けて吸水させます。

発根促進剤のオキシベロン液剤を使用する場合は、オキシベロンの使用説明にバラの記載がないので、400倍の希釈液に6時間～12時間吸水させるくらいでしょうか。小生の場合は急いでいたので1時間ほどの吸水でした。

用土や置き場所は冬の休眠枝挿しと同様です。2ヶ月も経つと葉も伸びて根も伸びてきます。根が伸びているのを確認したら畑や庭に支柱を立てて1本ずつ植えます。



切り出した枝(イボ竹は 1.8m)



葉を減らして吸水



鉢にまとめて挿し木



2ヶ月後

HT、FL、Minの挿し木も同様にできます。
枝を10センチほどに切って葉を切り取って枚数を減らし、挿し木します。穴をあけたビニール袋を被せて日陰に置きます。





月々の手入れ



7月～9月の手入れを簡単にまとめました。詳細は配布しています「ばらの手入れ」でご確認ください。

【庭植え】

7月	8月	9月
<p>■定期病害虫防除 雨に濡れると黒星病(黒点病)になります。病害を防ぐには雨の前に1週間～10日ごとの定期防除をします。害虫も見つけたら定期防除に組み込みます。</p> <p>■お礼肥 6月に与えていなければ7月上旬に有機物肥料を撒きます。マルチングを兼ねて堆肥(チッソ量1%程度のもの)を株の回りに敷いてもよいです。</p> <p>■敷きわら(マルチング) バラの回りの表土に敷きわらをします。ピートモスやバークなどでもかまいません。表土を覆うことが重要です。</p> <p>■シュートピンチ 株元から伸びてきたベーサルシュートや途中シュートを良い枝に仕立てるために早めにソフトピンチします。つるバラのシュートは折れやすいので倒れないように真っ直ぐ上向きに誘引します。</p>	<p>■シュートピンチ シュートのソフトピンチを続けます。シュートの段数が多くなると枝が折れやすいので支柱をします。つるバラのシュートも折れないように誘引します。</p> <p>■枝の整理 シュート(枝)が増えてきたら古い枝や懐枝など不要な枝は切り取ります。</p> <p>■定期病害虫防除 気温が高いと病害虫の活動も低下してきます。高温での農薬散布は薬害の発生もありますので薄めで散布します。病害の発生状況や発生を感じたら定期防除を行います。雨が少ないとハダニが発生しやすくなります。ハダニは葉の裏にいますので葉の裏を観察します。ハダニにはハダニ専用の農薬を散布します。</p> <p>■水やり 雨が少ないと生理現象で葉を落とすこともあります。雨が長く降らないときはたっぷりと水やりします。</p>	<p>■秋の剪定 遅咲きは9月初旬から、早咲きは9月上旬から中旬にかけて、秋花を咲かせるための剪定をします。基本はシュートの最上段か1段下の中間あたりの良い芽があるところで剪定します。8月中旬以降に伸びたシュートを9月上旬にピンチして秋の剪定の代わりにしてもよいです。</p> <p>■定期病害虫防除 過ごしやすい気温になってくると病害虫の活動も活発になります。1週間～10日ごとの定期防除を続けます。秋花をきれいに咲かせるために花を汚くするスリップスに注意します。蕾が開いて蕾の中に入りにスリップスが入り込む前に防除します。殺虫剤はスリップスに効果がある農薬を定期防除に混用します。また定期防除の間にも単用で蕾を中心に散布します。</p>

編集後記

(正村)

春のばら展に2代目会長の福田 覚様（故人）のご家族がご来場されました。

熊本ばら会の昔の資料をお持ちでないかお尋ねしたところ、自宅の本棚に資料があるか探して連絡しますとのことで、数日後にお電話を頂きました。

お預かりした資料は、福田様をご自身で手入れを手書きで纏められた「たのしみはばらと共に」とタイトルを付けられた資料、熊本バラ同好会（熊本ばら会旧名称）技術部のB4サイズ1枚の年間手入れの印刷物「熊本のバラ栽培の目安」、それと日本ばら会会報「創立35周年記念号」（昭和58年12月発行）です。

「たのしみはばらと共に」には福田様が実践されていた「土づくり」「植え付け」「仕立て」「防除」「繁殖」から「ばらの歴史」「ばらの文化」まで書かれていました。

また、日本ばら会会報には福田様や福岡バラ会 太田喜一郎様、宇部ばら会 原田敏行様、長崎ばら会 柴田 昇様、佐世保バラ会 北坂 徹様、久留米ばら会 内山芳男様など、九州・山口ばら懇話会の諸先輩方が寄稿されていました。そのほか、跡見 昭様、亀山 寧様、小野寺 透様など、長年ばらづくりをしておられる方はご存じの方々が寄稿されており、ばらの歴史や文化に至るまですばらしい内容の会報でした。今後、機会があれば内容をご紹介したいと思います。

熊本ばら会にはFacebookのグループとLINE公式アカウントがあります。どちらも非公開ですので会員以外は入れません。栽培についてのお問合せ、事務局への連絡にも利用できますのでご活用下さい。行事予定はホームページにも掲載しています。

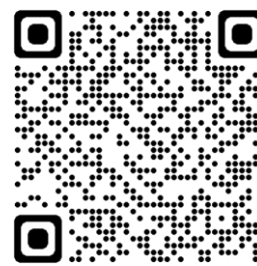
Facebook



LINE



HP



ばらだより 通巻254号 2023年7・8・9月号

発行 熊本ばら会

会長 前田 宜重

事務局 正村 正輝

会報担当 正村 正輝

問合せ用Eメールアドレス

info@kumamoto-rose-society.org

熊本ばら会ホームページ

<http://rose-society.life.coocan.jp/>

会員の部屋パスワード kuma562023